

4K8K時代の高解像度用スクリーン、 今最高画質の拡散型「ピュアマットⅢ Cinema」

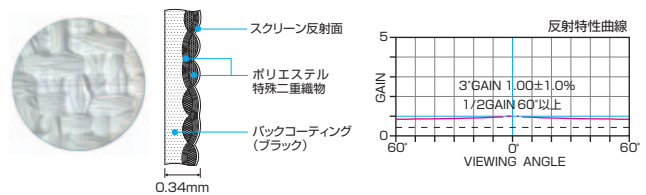
ピュアマットは2000年に誕生し、2002年映写用スクリーンとして製法特許を取得した、オーエスの技術の粋を結集したスクリーンです。初代ピュアマット (WF) から、バックコーティングの素材を追求したピュアマットⅡ (WF201)、暗部の階調を深くしたピュアマットⅡplus (WF202)、2010年にはハイゲインを追求し、フルHD対応としてピュアマットⅡ eX (WF203) を発表。最新のWF302は、非常に素直な映像を映し出ししながら、4K最大の魅力であるフォーカス感をしっかり実現する空気感を感じるスクリーンとして、評論家の先生諸氏からも完成度の良さに高評価をいただいた、最上級のスクリーン生地です。

ピュアマットⅢシネマ

WF302

モアレを防ぎ、高精細な映像を忠実に再現する4K対応スクリーン
ピュアマットはランダムに織られたファブリックスクリーンです。ピュアマットⅢCinemaは繊維の太さを従来の約半分にし、生地表面の凹凸を極限まで細かくして、ハイフォーカスを実現。
またバックコート、表面コートの工夫によりゲイン1.0という、拡散型としてはとても明るいスクリーンです。

■3°ゲイン1.00±1.0% ■ハーフゲイン角60°以上



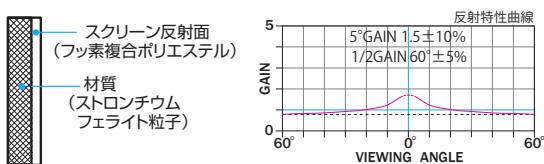
特殊なスクリーン

使う環境や目的、あるいは使用するプロジェクターなどにより、最適なスクリーンは異なります。オーエスでは、その条件を十分検討し最適なスクリーンをご提供します。

マグネットスクリーン

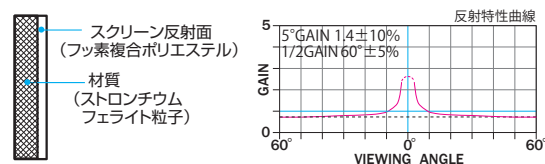
WE101 反射面は、ホットスポットを抑えた自然な幕面。ホワイトボードマーカーで書き込み・消去が可能です。全面マグネットで板面にしっかりと固定。

■5°ゲイン1.5±10% ■ハーフゲイン角60°±5%



WE111 反射面は、ホットスポットを抑えた自然な幕面。ホワイトボードマーカーで書き込み・消去が可能です。全面マグネットで板面にしっかりと固定。ローラー巻取りに最適な優れた柔軟性があります。

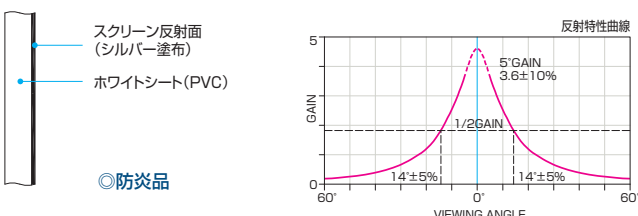
■5°ゲイン1.4±10% ■ハーフゲイン角60°±5%



シルバー (3D型)

SD201 2台のプロジェクターで、それぞれ偏光フィルターを通して右目用・左目用の画像を投写した時、その偏光性の強い光を、拡散させず、偏光状態を維持する、指向性の強い反射型スクリーン。

■5°ゲイン3.6±10% ■ハーフゲイン角14°±5%



ゴルフシミュレーター用スクリーン

WA101 オーエスの開発したゴルフシミュレーター用スクリーン
・低反発でゴルフボールが当たっても、跳ね返りが小さい
・ボールの衝撃音を吸収し、音が小さい
・プロジェクターの映像がくっきりとナチュラルに再現できる
・平面性を維持でき、耐久力に優れている

■5°ゲイン0.5±5% ■ハーフゲイン角60°以上

